

学年だより NO.109



荒川区立
南千住第二中学校
第3学年

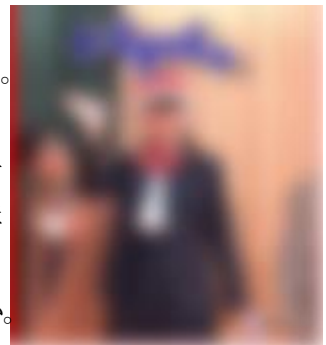
さらに続くよ 大霜月祭 文化の部 part3

令和2年11月4日

いよいよ学年劇についての紹介です。今年度は舞台上で劇を行うことはできないため、映像を作成する形になりました。練習を重ね、録画を重ね、作品を作りました。さらにはロケに行くなど映像ならではの活動となりました。撮っている松本先生は笑いをこらえるのに必死だったようです。それでは、劇の内容を振り返っていきます！

さて、この学年の主人公ともいえる、**シジイン**や**セレナ**は感染症対策のため自粛しなければなりません。そこで、今回ナビゲート役のおなじみ、このふたり？1匹とひとつ？2匹？**赤い河童**と**みのわらじ**がメインの主人公です。さらには、河童が紹介してくれた疫病退散の妖怪**あまびえ**も登場。1年生であまびえ役を務めた〇〇さんのお姉さんもサプライズ登場。3匹の妖怪が南千住にゆかりのある人物について、過去の様子を見せながら紹介してくれます。今年もナレーターが様々な解説を付け加えてくれます。一行がまず向かったのは素盞雄神社。おくのほそ道について、ナレーターが説明してくれました。おくのほそ道は松尾芭蕉の紀行文。立石寺については、期末考査のテスト範囲です。みなさん、テスト勉強は進んでいますか。頑張ってください。次に向かったのは回向院。

処刑された罪人のお墓があります。その処刑された罪人を杉田玄白、前野良沢、中川淳庵らが腑分けし、オランダの医学書「ターヘルアナトミア」を翻訳。「解体新書」が書かれました。**謎のオランダ人**曰く、「オランダでは進んだ医学あたりまえで一す」ということでした。



あまびえシスターズ



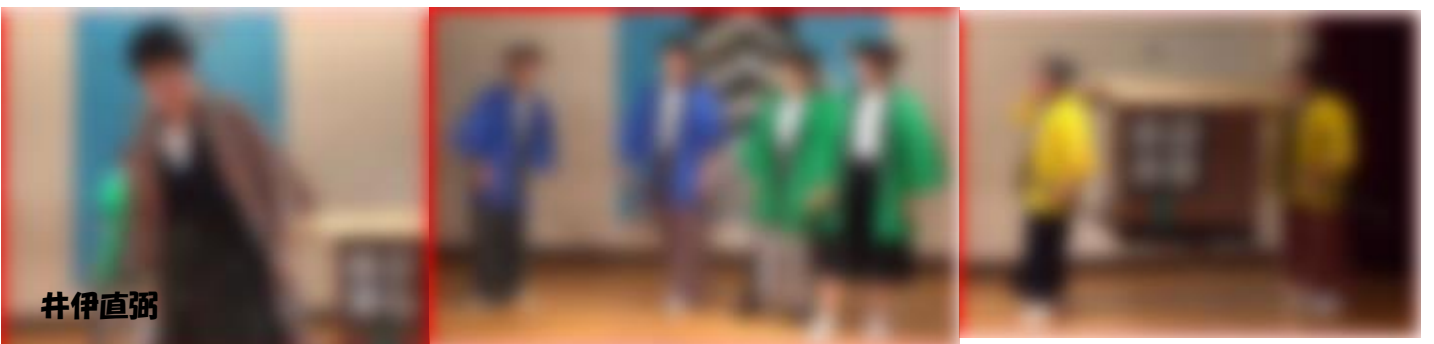
中川淳庵

前野良沢

杉田玄白

弾左右衛門父

次に出てくる場面は「桜田門外の変」。井伊直弼が暗殺される場面ですが、実際より何やら緊迫感のない場面となっていました。この桜田門外の変で処刑された者も、回向院に眠っています。そして、この桜田門外の変を皮切りに世の中は討幕の動きへと転換していくこととなりますが、そこからは裏面に続きます。裏面では続きの場面と、キャスト以外の役割分担の紹介をいたします。長くなっていますが、ぜひ最後までお付き合いください。

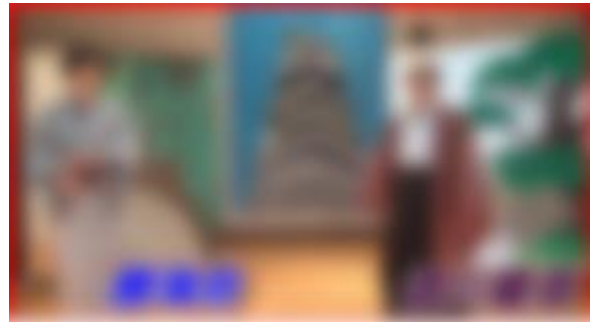


井伊直弼

井伊のお供たち

浪士たち

さて、続いての場面は大政奉還もされ、江戸城を明け渡すよう圧力をかける新政府軍、それに対して徳川慶喜と勝海舟は江戸を戦うことなく明け渡すことを決めた場面です。世にいう「江戸城無血開城」。新政府軍は西郷隆盛が江戸城に赴き、その話し合いがされました。なお、史実ではその場に犬は連れてきてないはずですが…。この劇は史実を元にしたフィクションですので悪しからず。この旧幕府軍の決断により血を流さずに江戸城を明け渡せたものの、徳川家臣の中には最後まで戦い抜こうとしたものがいました。それが上野戦争につながります。上野寛永寺で旧幕府軍の彰義隊と新政府軍が戦いました。今回の劇では、ダンスバトルで勝敗が決まります。もちろん、実際は激しい銃撃戦でした。そして、その戦いに敗れた彰義隊を弔ったのが円通寺の仏磨和尚。その縁で寛永寺にあった黒門は、今は円通寺にあるのです。様々な南千住にゆかりのある人物に焦点を当てた劇もこれにておしまいです。いつもより、短い劇で、さらには映像という中でキャストもスタッフもいろいろと考えて素晴らしい劇を作ることができました。2週間という短い練習期間、体育の部の練習も並行して行われるという濃密な準備期間でした。劇の作成に携わった皆さん、本当にお疲れさまでした！



スタッフの皆さんもお疲れさまでした！

